※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書	改訂版　高等学校　数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋Ｂ(数研出版)，クリアー 数学Ⅱ＋Ｂ(数研出版) はぎ取り式　練習ドリル　数学Ｂ（標準編）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２クラスを３教室に分けて、少人数での授業展開を行ないます。授業前後の予習・復習がより大切になります。

２　学習の到達目標

【知識・技能】数列、統計的な推測について、概念を理解し、基礎的な知識の習得と数学的処理技能の習熟をめざす。
【思考・判断・表現】数列、統計的な推測について、数学的な思考力・判断力・表現力を身に付けることをめざす。
【主体的に学習に取り組む態度】数列、統計的な推測について、事象を数学的に考察し、多面的に捉える能力、習得した知識、習熟した技能を的確に活用する能力を伸ばすことをめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	数列	数列と一般項 等差数列 等差数列とその和 等比数列 等比数列とその和 和の記号Σ 階差数列 いろいろな数列の和 漸化式 数学的帰納法	a: 数列の定義，表記について理解している。 初項と公差と公比を文字で表して，条件から数列の一般項を決定できる。 和の公式を，適切に利用して数列の和が求められる。 階差数列を利用して，もとの数列の一般項が求められる。 漸化式の意味を理解し，具体的に項を求めることができる。 b: 等差数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 数列の和を記号Σで表して，和の計算を簡単に行うことができる。 数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 群数列を理解し，ある特定の群に属する数の和が求められる。 複雑な漸化式を，おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 c: 数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。 等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち，等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 数列の規則性を，隣り合う２項の差を用いて発見しようとする。 f(k＋1)－f(k)を用いる和の求め方に興味をもち，具体的な問題に活用しようとする。 おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について，考察しようとする。	定期考査	定期考査	週末課題 小テスト ワークシート

※令和４年度以降入学生用

後期	確率分布	確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 二項分布 正規分布 母集団と標本 標本平均の分布 推定 仮説検定	a: 確率変数や確率分布について，用語の意味を理解している。 確率変数の期待値，分散，標準偏差を求めることができる。 同時分布の意味を理解し，２つの確率変数の同時分布を求めることができる。 独立な確率変数の積の期待値を，公式を利用して求めることができる。 標準正規分布に従う確率変数 Z についての確率を求めることができる。 標本平均が確率変数であることを理解している。 推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 信頼区間の考え方を用いて，母平均や母比率の推定ができる。 b: 確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 母集団分布と大きさ 1 の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。 大数の法則について理解し，標本の大きさ n が大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について考察できる。 仮説検定の考え方がわかる。 c: 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。 二項分布のグラフに関心をもち，調べてみようとする。仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち，現実の問題の解決に役立てようとする。	定期考査	定期考査	週末課題 小テスト ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度